

議事録

【会議の名称】

宝塚市パークマネジメント計画等審議会

【会議の開催状況】

日時：令和7年6月30日（月）10時00分～12時20分

場所：市役所会議室

【出席者】

（委員）

赤澤宏樹：兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画部門 教授

竹田和真：大阪産業大学 建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科 准教授

（オンライン参加）

梶木典子：神戸女子大学 家政学部 家政学科 教授（オンライン参加、途中退室）

上町あずさ：武庫川女子大学 建築学部 景観建築学科 教授（途中退室）

清水厚真：櫻守の会 代表

松田洋三郎：公募による市民

安東明美：兵庫県阪神北県民局県民躍動室 室長

（事務局）

江崎部長、中村次長、雑賀課長、田中係長、児玉係長、阪上、藪内

（傍聴） 1名

【欠席者（委員）】

阪上和彦：宝塚市花き園芸協会 会長

【次第】

1 開会

2 議題

（1）第5回審議会における到達目標 資料1、2

（2）報告事項について

・公園区計画の作成に向けたまちづくり協議会との調整状況 資料1

（3）主な審議事項について

・「パークマネジメント計画」（素案）の修正内容、概要版の素案 資料1、3-1、3-2、3-3、3-4

・街路樹管理計画の素案 資料1、4-1、4-2

（4）関連事項について

・都市計画公園見直しガイドライン案の修正 資料1、5

・開発協力金制度の推進 資料1

・シビックゾーン魅力向上に向けたサウンディング実施方針等の確認 資料1

3 閉会

【配布資料】

資料 1 概要資料（※全体概要）

資料 2 今後の審議会・作業部会における審議・検討の流れ（案）

資料 3-1 宝塚市パークマネジメント計画（素案）新旧対照表

資料 3-2 宝塚市パークマネジメント計画（素案）新旧対照表（一部本文抜粋）

資料 3-3 宝塚市パークマネジメント計画（素案）

資料 3-4 宝塚市パークマネジメント計画概要版（素案）

資料 4-1 街路樹管理計画（素案）新旧対応表

資料 4-2 街路樹管理計画（素案）

資料 5 都市計画公園見直しガイドライン（素案）

スライド_資料説明

【議事録】

1 開会

○資料の確認

2 議事内容

【議題 1. 第 5 回審議会における到達目標】

全委員：（異議なし）

【議題 2. 報告事項について】

①公園区計画の作成に向けたまちづくり協議会との調整状況

委員：まちづくり協議会全 20 地区中 6 地区が挙手したが、残る 14 地区の状況はいかがか。

また、先行着手地区となった 3 地区の姿勢は前向きであるか。

事務局：残る 14 地区からは、「先行着手地区での取組を確認したい」といった意見や、「ほかの事業もあり計画づくりに取り組む体制が整えにくい」、「予算確保の見通しが明確でない中協力しにくい」等の意見があった。先行着手地区については、先日、各地区の会長に集まっていただき意見交換を実施した。会をあげて前向きな地区、主に会長が主導している地区があり、状況は異なる。

委員：先行着手地区はいずれも市街地の北側の集中し、南側の地区が含まれていないことが残念である。

【議題 3. 主な審議事項について】

①「パークマネジメント計画」（素案）の修正内容、概要版の素案

委員：パークマネジメント計画については、ほぼ完成しているという認識でよろしいか。

事務局：特にご意見がなければ、パークマネジメント計画案として確定する段階のものである。概要資料については、今後裏面の整理を行う。

委員：宝塚市は、「花のみち」や「文化芸術センター」など、きれいな公園が多いというイメージがある。あのような整った公園を他の地域に広げていけるとよいと思う。

会長：本編の第2章で「課題」としていたところを「問題」として再整理したことで、問題が列記され、問題が山積という印象を与える。公園をこれからの時代にふさわしいものに変えていく、という計画の趣旨からすると、問題を前面に出すのではなく、「状況」といった表現の方がよいのではないか。

事務局：「問題」という表現について、概要版の表現については今後改めて検討したい。

会長：宝塚市にはよい取組も多い。概要版の裏面では、協働の取組など、今後取り組む施策の参考になるような取組を紹介することが重要ではないか。

事務局：裏面では、市内の先進的な事例について、写真掲載などを通じ、施策の紹介に取り組みたい。

委員：概要版では、アンケートの数値が掲載されているが、n値がないのと、狭小公園のどんなところに問題があって、どこが使いにくいと感じているのかなどの背景情報がないと、数値だけでは分かりにくい。計画のパーツ同士の関係性について、「即する」「踏まえる」等の記載があるが、これもどのような趣旨なのかわかりにくい。市民に対してわかりやすくすると、市民も市と協力しながら実施していく雰囲気になるのではないか。

会長：概要版を単に全体圧縮版とすると、伝えたいことが伝わらないのではないか。写真などを掲載し、意図を伝えることが重要である。維持管理については、市が担うべき負担を市民に丸投げするという印象を与えかねない。一緒に楽しみながら取り組む等のニュアンスを伝えることが重要ではないか。計画全体については、大筋で問題がないという認識のもと、今後は、表現について整理を進めてほしい。

②街路樹管理計画の素案

会長：新旧対照表 No.10 の写真については、主題と内容に少しフォーカスが合っていないと感じる箇所がある。

委員：街路樹管理計画はある程度内容が確定しているのか。

事務局：まだ検討しているところである。ご意見を踏まえ、今後修正していく段階のものだ。

委員：街路樹で視認性が悪いところは、子どもや女性が車で連れ去られる危険性があることがあると警察から話を聞いた。P49 の視認性を高めるなどについては、警察と連携し、犯罪の履歴がないか、危険性の共有を図り、計画に反映できればいいのではないか。

事務局：警察等の意見確認について検討する。

委員：P5 の根系肥大の写真もわかりにくい。掲載写真の見直しをお願いしたい。

会長：資料中に「小高木」とあるが、どれほどの規模のものか。

事務局：6～7 m程度である。

会長：枝張りが6～7 mになると、周辺への支障が生じる恐れがある。本文では、一律の基準とするだけでなく、周辺建物など現地の状況に合わせる等の記載が必要になるのではないか。

会長：時間を超過している。関連事項が3項目残っているが、いかがすべきか。

事務局：「都市計画公園見直しガイドライン案の修正」のみ報告させていただきたい。

※上町委員はここで退室。

【議題 4. 関連事項について】

①都市計画公園見直しガイドライン案の修正

※梶木委員はこの説明中に退室。

会長：検証内容が複雑になってきているが、丁寧に妥当性を検証する内容になってきたと思う。今後どのような予定であるか。

事務局：11月中旬をめどに都市計画審議会に諮る。また、年度内にガイドラインとして定めることを予定する。

会長：残りの2項目「開発協力金制度の進捗」、「シビックゾーン魅力向上に向けたサウンディング実施方針等の確認」については、今後も報告機会があるため、詳細な議論はそ
の際にお願いしたい。

【その他】

事務局：次回の審議会は9月を予定している。詳細は決定後ご連絡する。

(以上)

(委員から別途メールでいただいたご意見)

- ・ P58 に「これまでに街路樹であまり採用されていない園芸品種を含め、」とあるが、ミヤマガンショウなど、街路樹としての実績のない種を採用するのなら、慎重に選定する必要があると思う。
- ・ 街路樹ではなくても、植栽事例をもっと調査し、確実に生育することを示した方がよいのではないか。
- ・ 植栽場所の環境は様々で、特に日照条件は重要かと思う。樹種を選定する際に参考になるように、半日陰可、日当たり必要、などの日照に関する情報ははっきりと示した方がよいのではないか。
- ・ P60 ホソバシャリンバイは学名にも示されているように、沖縄に自生する種のようなが、耐寒性に問題はないのか。